

決算審査特別委員会を設置

9月定例会開会日に、平成24年度各会計歳入歳出決算の審査を行うために、決算審査特別委員会が設置されました。

委員は、次のとおり選任され、9月定例会閉会後も引き続き審査を行うことになりました。

- 委員長 一色輝雄
副委員長 行元博
委員 塩出崇

- 坪井剛
西坂壽
高橋哲
越智啓郎
近藤達也
武田節雄
藤田節雄



決算審査特別委員会審査の様子

請願

9月定例会における請願の審査状況は、次のとおりです。

【継続審査】

消費税の増税を中止するよう国に求める請願

来訪 西条

6月定例会閉会以降、次の議会が行政視察のため、西条市を訪問しました。

- 7月10日・高知県黒潮町議会
7月22日・神奈川県平塚市議会

委員会提出議案

9月定例会最終日に、総務委員会から下記の意見書が提出され、原案可決された後、政府関係機関に提出されました。

地方税等財源の充実・確保を求める意見書

政府は、経済成長戦略の大きな柱として地域活性化を位置付けているが、現下の地方財政は、社会保障関係費等の財政需要の増加や地方税等の減収により、厳しい状況が続いている。

今後とも、行財政改革を推進することはもとより、福祉や教育の充実、産業の振興、社会資本の整備など、あらゆる行政分野において総合的かつ着実に推進していく必要があり、地方が担う役割に見合った地方税等財源の充実・確保が不可欠である。

よって、国においては、下記事項を実現されるよう強く求める。

記

- 1 地方交付税の増額等による一般財源総額の確保について
(1) 地方単独事業を含めた社会保障関係費の増など、地方の財政需要を地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。
(2) 地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。
(3) 特に、普通交付税の算定については、合併に伴う広域化により財政需要が増大していることなど、地域の実態を反映した見直しを行い、適切な財源を確保すること。
(4) 財源不足額は、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引き上げにより対応すること。
2 地方税源の充実・確保等について
(1) 地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分を「5：5」とすること。その際、税源の偏在性が小さく、税収の安定的な地方税体系を構築すること。
(2) 個人住民税は、その充実・確保を図るとともに、「地域社会の会費」という基本的な性格を踏まえ、政策的な税額控除を導入しないこと。
(3) 固定資産税は、市町村の基幹税目であることから、その安定的確保を図ること。
特に、償却資産の根幹をなしている「機械及び装置」に対する課税等については、現行制度を堅持すること。
(4) 法人実効税率の引き下げや地方法人課税の見直し等の抜本的な改革を行う場合は、個別団体において行政サービスの低下を招かないよう確実に財源措置すること。
(5) 自動車重量税及び自動車取得税は、代替財源を示さない限り、市町村への財源配分のしくみを含めて現行制度を堅持すること。
(6) ゴルフ場利用税は、ゴルフ場所在の市町村にとって貴重な税源となっていることから、現行制度を堅持すること。
(7) 地球温暖化対策において、地方自治体が果たしている役割を踏まえ、地球温暖化対策譲与税を新たに創設するなど、地方税財源を確保するしくみを構築すること。

会派等別政策提言懇談会を開催

市議会では、8月19日に会派等別政策提言懇談会を開催し、市長に対し全21項目の政策を提言しました。

この懇談会は、市政の課題を把握した上で、その解決に向けた政策などを会派や議員自らが立案し、市長に対し提言を行うものです。

このような機会を通じ、市民福祉の向上のための政策を市政に反映していきたいと考えています。



編集後記

本号では9月定例会の内容を編集しました。これからの市民の皆様が親しまれる議会だよりの編集に努めて参ります。

11月に入り、朝晩と寒い日が続くようになってきました。石鎚山がうっすらと白く見える日も近いのではないのでしょうか。皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。



市議会だより編集委員会

- 委員長 一色輝雄
副委員長 児玉千春
委員 越智重幸
岡村俊治
武田啓郎
黒河田智郎
藤田紘一
伊藤節雄
荻田孝司
西条市明屋敷164番地
西条市議会事務局
TEL 0897-5211261